



韓国大邱広域市寿城区派遣職員レポート

問合先 国際交流課 (☎429-9174)

▶打ち合わせの様子



みなさん、こんにちは。4～9月の半年間、泉佐野市の友好提携都市である韓国・大邱広域市寿城区に派遣されていた、国際交流課の長谷川です。

泉佐野市と寿城区は、2023年7月25日に友好都市提携を締結して以来、野球やサッカーなどのスポーツをはじめ、合唱団の交流など、幅広い分野で市民レベルの交流を深めています。私は、普段は寿城区庁の広報疎通課にある対外協力チームで勤務し、泉佐野市との交流事業における現地施設の視察や事前打ち合わせ、交流当日の対応など、両都市の交流が円滑に進むよう、さまざまな業務を担当していました。少し短いですが、韓国での半年間の生活を通して感じたことや、日本との違いなど、現地で実際に見て体験したことをご紹介します。



▲寿城区のマスコットキャラクター・トゥビーと



◀数種類のおかずから好きなものを選ぶワンプレートの昼食



辛いタイプの冷麺(刺身入り) ▶

昼食は「みんなで」

印象に残ったことのひとつが、職場での昼食の時間です。韓国では、職場の同僚と一緒に昼食を食べることが多く、私も滞在中は同じチームのみなさんと食事をする機会がたくさんありました。普段は、寿城区庁の地下にある食堂を利用します。手頃な価格で職員に人気があり、人気メニューの日には、地下の食堂から地上まで行列ができることもあります。食堂が混んでいたり、少し気分を変えたいときは、区庁の外の店へ。冷麺やうどん、フォー、ジャージャー麺などの麺料理の店に行き食べることが多かったです。また寿城区にはトンカツ屋や寿司屋などの日本食の店も多くありましたが、麺類より少し値段が高かったので、私にとってはちょっとしたごちそうでした。そして、昼食後にはみんなでコーヒーを買って飲むのも定番。食事は職場の人たちとの距離を縮める大切なコミュニケーションの時間でもありました。

おわりに

この半年間の派遣では、多くの韓国の人たちが、日本の文化や生活についてとてもよく知っていることに驚き、親しみを持って接して下さる姿から、両国のつながりをとても身近に感じました。さらに、実際に韓国で生活する中で、文化や人々への理解を深めることができ、多くのことを学ぶ貴重な経験となりました。この経験で得た学びを、これからの仕事にも生かしていきたいと思っています。

【ひとことアドバイス】
●サブスクリプション(サブスク)は、定められた料金を定期的に支払うことで一定期間商品やサービスを利用できるサービスです。一度契約すると、利用しなくても解約しない限り支払いが続きます。

【事例1】
1ヵ月無料の動画配信サービスを登録。動画を視聴しようとしたが上手くいかず、数週間後にアプリを削除した。その後、キャリア決済で毎月約2,000円、半年以上もサブスクの代金が引き落とされていることに気付いた。一度も視聴せずにアプリを削除したのに、引き落とされていたことに納得できない。(60歳代)

消費生活センターだより

見守りリー→

相談受付
午前9時～
午後4時30分

相談はお早めに
センターへ!!

南海線「泉佐野」駅前
☎469-2240

**サブスクリプション
～アプリの削除だけでは
解約になりません!～**

●サブスクの契約は、アプリのアイコンを削除したり、アプリをアンインストールするだけでは解約とはなりません。事業者の定めた方法で解約することが必要です。

●無料のお試しの場合は、お試し期間が終わると自動的に定額サービスに移行することが多いので注意が必要です。

●利用していないサブスクの請求に気付けるように、クレジットカードやキャリア決済などの明細は、毎月確認しましょう。



▶イラスト: 黒崎 玄

参考: (独) 国民生活センター
「見守り新鮮情報第545号」

困った時は、消費生活センターにご相談ください。